

外来診療担当医表

(※予約優先)

《午前診療》9:00 ～ 12:30

月	火	水	木	金	土
整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科
乾 義弘 (脊椎)	岩城 啓好 (膝・股関節) (9:30～)	乾 義弘 (脊椎)	槇 孝俊 (膝・股関節)	乾 義弘 (脊椎)	乾(第1週) 松川(第2週)
松川 哲也 (肩・膝・スポーツ整形)	谷口 慎一 (膝・股関節)	槇 孝俊 (膝・股関節)	貝澤 幸俊 (手・肘外科)	松川 哲也 (肩・膝・スポーツ整形)	槇(第3週) 松川・谷口(第4週)
		川村 和哉 (肩関節)			岩城(第5週)
	内科			内科	
	外来担当医			外来担当医	

《午後診療》13:30 ～ 17:00

月	火	水	木	金	土
整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科
松川 哲也 (肩・膝・スポーツ整形) (診察終了15:00)	岩城 啓好 (膝・股関節) (診察終了16:30)	松川 哲也 (肩・膝・スポーツ整形)	岩城 啓好 (膝・股関節)	乾 義弘 (脊椎)	整形医員 (時間外診療)
谷口 慎一 (膝・股関節) (14:30～)	槇 孝俊 (膝・股関節)	澁谷 秀幸 (リウマチ) (16:00～)	槇 孝俊 (膝・股関節)	谷口 慎一 (膝・股関節) (15:00～)	
	谷口 慎一 (膝・股関節)				
内科		内科	内科	内科	
外来担当医		西谷 真人	外来担当医	名越 良治 (循環器内科) (15:00～)	

《リハビリテーション》	平日		土曜日	日曜日・祝日・年末年始
	午前診療	9:00～12:00	9:00～12:00	休診します
	午後診療	13:00～17:00	休診します	

※ 日曜日・祝日・年末年始は休診しますが、時間外診療・救急外来(整形外科のみ)は、24時間受付します。

※ 出張・緊急手術等により担当医が交代または休診することがあります。(院内掲示およびホームページでお知らせいたします。)



〒553-0007 大阪市福島区大開4-3-61



【予約専用ダイヤル】0120-114-109
平日9:00～17:00 土曜日9:00～13:00
※050から始まる電話番号はご利用になれません。

【上記以外お問合せ】06-6463-1111(代)

【発行責任】総務課広報室

だい せい こう
大整広

Be smiling! All is well!

大阪整形外科病院 広報誌

Vol.8 春号



「患者様を想う心」が、 私たちの看護につながる



看護部 看護部長

かとう えみこ
加藤 恵美子

こちらの大整広で、初めてご挨拶させていただいたのは、新病院となり1年半を迎えた頃で、それから、早いもので3年が経とうとしています。この3年の間、新型コロナウイルス感染症の動きが流動的で現在は5類に分類されましたが今に至っても流行期感染症との奮闘は続いており、職員一丸となって患者様に安心と安全をお届けできるよう日々尽力しております。前回、私のモットーは、「やりがいを持って、気持ちよく働ける職場づくり」であるとお伝えしました。職員が、気持ちよく働ける環境を作ること、患者様に対して温かく心のこもった看護を提供できると、自負しております。看護師たちの想いが、皆様に伝わっていただけましたら幸いです。今後も、より良い環境づくりに全力を尽くしてまいります。そして、医療技術の向上はもちろんのこと、「大阪整形外科病院の看護師なら安心できる」と患者様に思ってもらえるような信頼と安心を届ける看護部を目指していきます。

昨年、診療報酬改定により、入院において「人生の最終段階における意思決定支援」が通則に追加されました。この意思決定支援において、厚生労働省が推奨する「人生会議＝ACP※1」とは、切り離すことができません。当院は、急性期の整形外科病院であるため、一般的なACPと言われる終末期医療とは少し異なる面がありますが、当院のACPの関わり方として、患者様が安心して治療を受けられ、スムーズに社会復帰できるよう支援することを引き続き、続けてまいります。看護部一同、患者様とご家族様が安心して安全に治療を継続できるよう環境を整え、使命を果たしてまいります。人生会議についてご興味のある方は、6月の施行に合わせ、パンフレットの設置を予定しておりますので、ぜひご覧ください。これからも、皆様に愛される病院づくりに邁進してまいります。引き続き、ご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※1 アドバンス・ケア・プランニング

チームの成長で、 より良いリハビリテーションを



リハビリテーション部 部長

きたがわ あきら
北河 朗

リハビリテーション部を代表してご挨拶申し上げます。2020年12月に新築移転して以来、本年度で5回目の新年度を迎えます。当時のリハビリテーション部のスタッフ数は35名程度でしたが、現在は50名を超える大所帯となりました。

現在、理学療法士を大阪整形外科病院、中之島いわき整形外科(クリニック)、訪問看護ステーションつぐみの3か所の法人拠点にそれぞれ配置し、手術後から外来、在宅に至るまで、整形外科疾患でお悩みの患者様に対するリハビリを、幅広く提供できる体制が整いました。

当法人の理学療法士は、若いスタッフが多く、まだまだ発展途上ではありますが、「整形外科疾患に対するリハビリテーションのエキスパートになりたい」と熱意を持ったスタッフが数多く在籍しています。

当院は近隣の病院やクリニックからのご紹介で入院される患者様も多くいらっしゃいます。患者様はもちろんのこと、ご紹介いただきました病病・病診連携の皆様の期待にお応えすることができるよう、今後も日々精進してまいりたいと存じます。

大阪整形外科病院、中之島いわき整形外科、訪問看護ステーションつぐみに在籍する理学療法士一同、今後ともよろしくお願いいたします。

春を迎え、 職員の成長を感じ前進する



診療支援部 部長
薬剤科 薬剤科長

いへら みか
家原 美薫

『大整広 春号』をご覧いただき、ありがとうございます。日頃より皆様には、当院の運営に、ご理解とご協力をいただき、診療支援部を代表して心より感謝申し上げます。

桜のつぼみがふくらみ、心躍る季節となりました。春は新しい始まりの象徴でもあり、街の景色も心持ちも明るくなるように感じます。この時期になると、「春眠暁を覚えず」という言葉が思い浮かびます。暖かくなるとつい眠くなるのは、気のせいではなく、実は自律神経の変化が影響しているそうです。寒暖差や日照時間の変化に体が適応するために、副交感神経※2が優位になり、リラックスモードに入りやすいとか。そうはいいいましても、新生活が始まる方も多い時期ですので、適度な運動や食事で体調管理をし、元気に過ごしていきたいですね。

また、春といえば「芽吹き」の季節。診療支援部では昨年、6名のフレッシュな人材が仲間入りしました。皆、新しい環境で一生懸命努力し、上司や仲間の導きで嬉しいこと、失敗したことなど様々な経験を積み重ねてまいりました。この春きつとより成長した社会人としての「芽吹き」が見られることでしょう。我々も心新たに学びを続け、変化する医療環境に柔軟に対応できるよう研鑽してまいります。今後も、患者様やご家族の皆様、そして地域の医療施設の皆様が安心して治療を任せてくださる病院であるために、努力を重ねてまいります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

※2 体を休めるときに働く神経で、自律神経の一種

新年度のご挨拶

激変の時代、 安定した医療の提供を



事務部 事務長

もりもと てつや
森本 鉄也

皆様、日々の診療体制、また病院運営にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着き、私たちの日常が少しずつ戻りつつあります。この度、新年度を迎えるにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックから解放され、外出やイベントが多くなり、これから人生をよりよく楽しむ機会が増える中、腰、肩、膝などの関節に痛みを感じ、当院を受診される患者様が增加しております。当院は、2013年に中之島いわき病院として開設し、2020年にこの地に移転し、大阪整形外科病院として新たに出発しました。それ以来、これらの痛みに対する適切な治療とケアを提供することを第一に取り組んでまいりました。

世の中では、私たちの生活に大きな影響を及ぼす出来事が多くありました。日本では、見送りとなりましたが、高額医療費の自己負担増加や増税、アメリカでは、関税政策など、私たちの生活を脅かす話題ばかりでまだ明るいとは言えない状況です。

このような昨今ではありますが、体の痛みを軽減し、日常生活の中で小さな喜びを見つけ、少しでも心穏やかに過ごせるよう、私たちは皆様の健康をサポートし続ける所存です。患者様一人ひとりが、笑顔で日々を過ごせるよう、スタッフ一同、全力で取り組んでまいります。どうぞ、新年度もよろしくお願い申し上げます。

新入職員が 入りました!



今年も、新年度スタートである4月1日に、多くの新入職員を迎えることができました!
手術室看護師1名、病棟看護師1名、理学療法士6名、リハビリ受付1名、調理師1名、
医事課受付1名、医師事務作業補助者2名、合計13名の職員が入職いたしました!
これから、どうぞよろしくお願いいたします。

リハビリテーション部は全員新卒!フレッシュな顔ぶれ☆

先輩職員から新入職員へ
指導中の様子を撮影
させていただきました!



手術室 看護師



診察室 医師事務作業補助者



調理場 調理師

新入職員を代表して3名の方に、「**意気込み**」を聞きました!



看護部
しげつか ちほ
重塚 千帆 さん



医事課
なや まりな
納谷 真里奈 さん



リハビリテーション部
ささき しゅん
佐々木 駿 さん

4月に入職いたしました、看護師の重塚千帆です。患者様とのコミュニケーションを大切にするとともに、看護ケアのスキルを高め、信頼される看護師を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

初めまして。医事課の納谷です。社会人1年目。まずは来院された患者様に安心していただけるよう、丁寧な対応ができる受付スタッフを目指します。至らぬ点も多々あるかと思いますが、精一杯努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

初めまして。リハビリテーション部新人の佐々木です。私は、患者様が笑顔で、痛みのない暮らしができるよう、患者様に寄り添ったリハビリテーションを提供いたします。日々精進して参りますので、よろしくお願いいたします!

心に届く医療を目指して～接遇委員会のご紹介～

接遇委員会は、旧病院である中之島いわき病院で2015年に活動を開始しました。この委員会は、医療機関で安全管理体制の確保を義務とする、医療安全委員会や院内感染防止委員会などとは異なり、各医療機関で任意で設置する委員会です。当院の接遇委員会では、患者様に選ばれる病院づくりを目指し、医療技術はもちろんのこと病院スタッフとして接遇マナーの向上・改善に取り組むことを目的に活動しています。当院では、この他に任意の委員会として、業務改善委員会や情報発信委員会などがあります。各部署より職員が参加し、患者様の要望に応えるべく、それぞれの職種や立場から意見や改善策を出し合い、よりよい病院づくりに努めています。

「気持ちの良い職場づくりをひとりひとりの原動力で」

前年度、接遇委員会のキャッチコピーを、このように決めました。

これは、接遇とは患者様に対してだけではなく、職員の意識やあり方を向上させることで、患者様により良い医療サービスが提供できるということにつながるのではと考え、職員で話し合い決定いたしました。

このキャッチコピーの背景には、職員同士が気持ちよく働けることで、モチベーションがあがり、意欲的になり、職員間のコミュニケーションが図れ、スムーズな連携をとれるようになるということ。そして、この基礎があれば、患者様に対応することにおいても、職員に対して患者様からの信頼性が高まり、治療に必要な情報を患者様にお伝えすることや聞き出すことなど、より患者様に寄り添った質の高い医療を提供できるのではないかという思いで誕生しました。

接遇委員会では、活動のひとつとして本年1月に2回、患者様満足度アンケートを実施いたしました。今回のアンケートでは、職員に対する評価として、1階受付と外来リハビリテーションを対象に、実施いたしました。

患者様が、実際に対応を受けた部署・職員の評価をしていただき、最もシンプルな方法をとりました。ご協力いただきました患者様の皆様、誠にありがとうございました。

これらの結果を踏まえ、接遇委員会メンバーで話し合い、これからの職員接遇力向上に最大限に活かしてまいります。



3月の接遇委員会
アンケート結果を振り返り意見交換

当院では1階のベンダーコーナーにご意見箱を設置しており、WEBでの回答も承っております。忌憚なきご意見・ご要望をいただけますと幸いに存じます。

ご意見フォーム



はい！ 教えて！臨床検査技師さん

どうして、下肢静脈エコーが必要なの？

しんぶじょうみやくけっせんしやう
深部静脈血栓症(DVT)を知っていますか？

手術した部位は、股関節やひざ関節なのに、なぜ下肢部分のエコーをするのか皆さん疑問ですよね。
実は、この下肢静脈エコー検査は、整形外科の手術後、特に大腿や下腿の骨折手術や人工関節手術を受けられた方には、とっても大切な検査になります。

深部静脈血栓って？

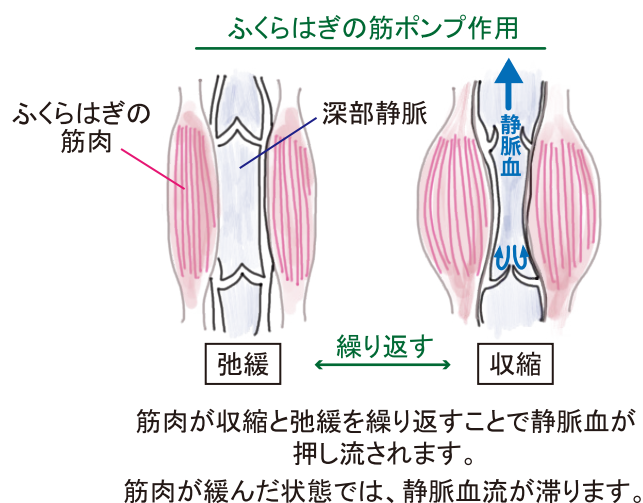
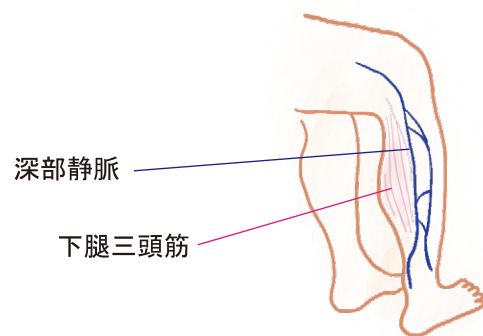
足の奥深くに位置する**深部静脈**に**血栓**(血液の塊)が形成される病態を指します。

深部静脈は、表在静脈(採血する表面上の静脈)と違い筋肉に囲まれており、**筋ポンプ**の作用により血液は押し上げられて心臓に送られています。

太もものつけ根や膝の裏にある静脈の流れが悪くなり、血液が滞ると血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血栓(血液の塊)ができ、立ち上がったとき歩き始めたときに血液の流れによって肺に達し、肺の血管を塞いでしまう肺塞栓症、脳や心臓に達すると脳卒中や心臓発作などを引き起こす原因となります。

症状は、下腿の**腫脹・熱感・疼痛**を認めます。

深部静脈血栓症は整形外科手術後に発生するとされており、肺塞栓症の原因となります。



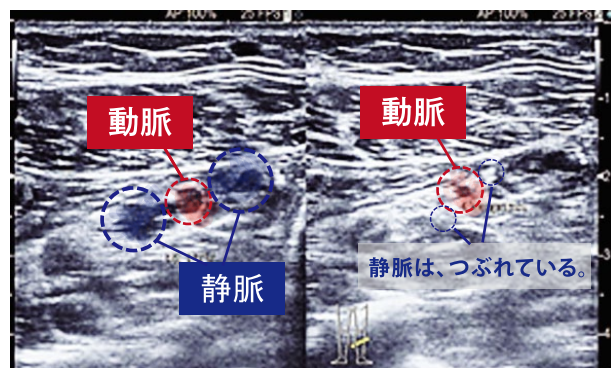
股関節や膝の人工関節置換術後は、手術や術後安静のために足の静脈の流れが悪くなったり、絶食の影響で脱水になったりするため、血栓ができやすくなるとわれています。

当院では、早期発見・治療を行うために術後 7日目に下肢静脈エコー検査を実施しています



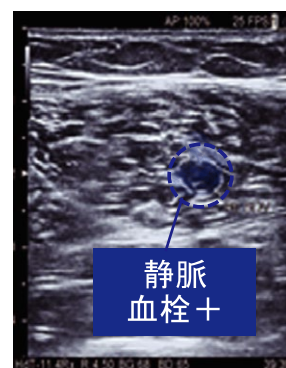
判断方法 動脈と静脈を圧迫し、血管がつぶれるかどうかで血栓の有無を判断します。✓

正常な場合



動脈は圧迫してもつぶれませんが、静脈はつぶれます。

血栓ありの場合



血栓が存在すると、圧迫しても静脈はつぶれません。

ふゆ 冬 から はる 春 を迎えるための リハビリ体操

病院公式YouTubeで体操動画を紹介しています。

春先、病院では転倒によるケガや入院、手術をされる方が急増します。

また、転倒事故の半数は住み慣れた住宅で起こっているとも言われています。

冬の間に外出・運動する機会が減り活動を控えていた結果、筋力などの身体機能が低下してしまい、暖かくなり活動しやすくなった際に、筋力の衰えやバランス感覚が鈍ることにより、身体が思うように動かず転倒してしまうことがあります。

転倒の多くは、

「**自宅の中**」で、起こっている？！

理由として、室内で過ごす時間が長いことや、家の中の“つまずきポイント”が意外と多いこと、トイレや寝室など“急いで”動く場面が多いことなどが挙げられます。

また、春のお部屋の模様替え・衣替えで環境が変わることも影響の一つとして考えられます。その他にも、視力の低下や普段服用している血圧などの薬の影響も原因としてあります。

厚生労働省などの統計では、高齢者の転倒の6割以上が「自宅内」で発生しているというデータがあり、転倒による骨折の多くも、室内の『**ちょっとした油断**』から起こっています。



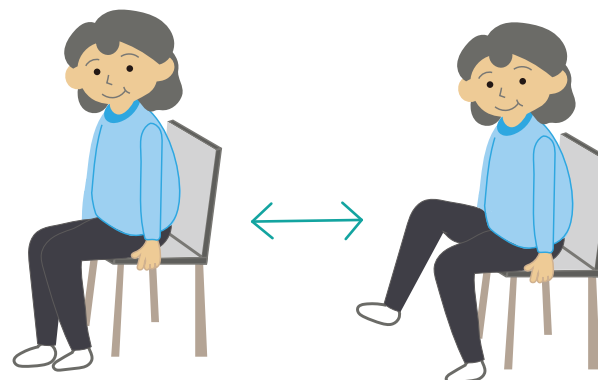
高齢者にとって、転倒は非常に重大な事故となり、

骨折⇒寝たきり⇒要介護

という流れにつながりやすくなります。

加齢による筋力の低下は、自然現象ではありますが、適切なリハビリや運動習慣によって予防することができます。

転倒に深く関係しているといわれている、脚の筋力アップ体操をご紹介します！



座ってできる **ももあげ10回×3セット**

イスに座り、左右片方ずつももをあげる。ゆっくりあげて、ゆっくりおろす。

※「ゆっくり上げて、ゆっくりおろす」が慣れてきたら、歩クリズムに合わせて、少し早めに足踏みをしてよいでしょう。